

平成 26 年 10 月 1 日

「福島現代美術ビエンナーレ 2014」開幕！！

福島現代美術ビエンナーレが「気」、「循環」をテーマに 2014 年 10 月 11 日～26 日、福島県会津地方（喜多方市、湯川村）の 8 会場で、国内外の 88 人のアーティストを招聘して開催されます。

前回の 2012 年は、震災から 1 年半後に国内外から多くのアーティストが参加しました。放射能汚染の影響がまだ大きい中、数多くのアーティストの訪問とアート作品は県民に多くの勇気を与えました。

・タイトル

福島現代美術ビエンナーレ 2014 開幕。震災を乗り越え 10 周年を迎える福島発のアートの祭典。食文化豊かな会津地方（喜多方市、湯川村）を舞台にアートで示す循環する未来

・要約

10 周年を迎える福島現代美術ビエンナーレが、「気」、「循環」をテーマに 2014 年 10 月 11 日～26 日、福島県会津地方（喜多方市、湯川村）の 8 会場で、国内外の 88 人のアーティストを招聘して開催されます。

本年で記念すべき 10 年を迎える「福島現代美術ビエンナーレ」は、福島大学の「芸術による地域創造研究所」を母体に、2004 年から隔年ごとにテーマを変えて、福島県各地で現代アートのフェスティバルを行ってきました。

その間、東日本大震災、福島第一原発事故が起こったことで、ビエンナーレの意義も大きく変わってきました。前回の 2012 年は、震災から 1 年半後に、福島で初めて行われた芸術祭であり、国内外から多くのアーティストが参加しました。放射能汚染の影響がまだ大きい中、数多くのアーティストの訪問とアート作品は県民に多くの勇気を与えました。

今回 2014 年は「気-Circulation」、自然と人間の循環をテーマにし、震災から 3 年半が経ち、今なお様々な課題と立ち向かっている福島においてもっとも課題になっている食文化と環境の循環に注目をします。

今回の展示会場となる場所は、湯川村と喜多方市です。

「福島一小さな村」である湯川村は「米と文化の里」と呼ばれ、福島唯一の国宝の仏像（勝常寺）があります。

喜多方市は東の蔵の町として知られ、米の生産に加えて、お酒や味噌、おせ

んべいなど、米を元にした加工食品の生産で有名です。

湯川村は会津盆地の中心にあり、東に会津磐梯山を仰ぎ、北に喜多方市、南に会津若松市に囲まれ「会津のへそ」と言われています。内陸にありながら標高は180mしかなく、その寒暖差は夏にはアスパラ、トマト、きゅうり、なす、スイカ、桃など野菜や果物が豊富に生産され、米の反あたりの収穫量は県内一を誇り、日本一の味と言われています。

また、村にある勝常寺は平安時代、霊峰、会津磐梯山の麓で一大信仰地を築き、その名を都にまで轟かせ、同時代を生きた最澄と大論争を行った法相宗の徳一上人によって開かれた古刹です。そして、平安時代初期の貴重な仏像が残存し、福島県では国宝が安置されている唯一の寺院でもあります。

さらに、江戸時代には、飢饉時の社倉制や年金制度を初めて行い、日本の福祉政策の原点とも言われる会津藩の名君、保科正之が治めた地でもあります。

まさに、食文化や環境、今日の年金問題といった原点を考える「日本の課題のへそ」であり、現在と未来の日本を考える上においてこれ以上相応しい地はないと言えるでしょう。

その喜多方に残る米を貯蔵していた巨大な石蔵では、前回、福島空港で全長約6mの子ども像《サン・チャイルド》の展示をして話題となった、アーティストのヤノベケンジ氏が眼を閉じて座りながら瞑想し、太陽とともに目覚め立ち上がる純白のワンピースを着た巨大少女像《サン・シスター》を展示し、福島県民や世界中の人々への深い祈りと同時に、新たな希望のメッセージを発信します。

《サン・シスター》は、会期中、目を閉じて座る姿勢から目を開いて大きな手を広げた立ち上がることで全長6mになります。

《サン・シスター》を照らす照明デザインを日本で初めての博物館専属の展示デザイナーで、展示照明のエキスパートである東京国立博物館の木下史青氏が担当し、石蔵の深い暗闇から立ち上がる少女像を幻想的に浮かび上がらせま

す。木下史青氏は2013年の東京国立博物館の東洋館のリニューアルオープンでは、古代エジプト、中国、朝鮮半島、東南アジアなどの美術品の展示照明を手掛け、大きな話題となりました。

また、日本画家の松井冬子、彫刻家の戸谷成雄、デザイナーの佐藤卓、写真家の瀬戸正人、コミュニティや地域との関わりを作品化する長澤伸穂、あいちトリエンナーレ2016の総合監督に就任が決まった写真家で著述家である港千尋など国内外で活躍する幅広いアーティストが参加し、前回はオノ・ヨーコ氏が、《福島のための空の曲 SKY PIECE for Fukushima》を展示しま

その他、88人の作家が、8会場で「気」と「循環」をキーワードに展示を行います。

是非、福島からアーティストが発信する、食文化と環境が循環する未来のヒントが詰まった展覧会に足をお運び頂ければ幸いです。

福島現代美術ビエンナーレ 2014—気 circulate—

【会期】

2014年10月11日（土）～10月26日（日）

【開催時間】

10：00～18：00

【会場】

道の駅あいづ湯川・会津坂下

【ワークショップ、講演活動】

2014年8月1日（金）～10月31日（金）

道の駅あいづ湯川・会津坂下、JA 会津いいで喜多方駅前石蔵倉庫、ガーデンホテル喜多方、旧嶋新商店三十八間蔵、大和田酒蔵 北方風土館、小原酒造、金忠絵本の蔵、喜多方市美術館

【企画・主催】

福島現代美術ビエンナーレ実行委員会
国立大学法人福島大学 芸術による地域創造研究所

【共催】

湯川村「豊穣の芸術祭」実行委員会
喜多方市美術館

【URL】

<http://wa-art.com/bien/bien2014>

【問い合わせ】

福島大学 芸術による地域創造研究所内
担当：渡邊
TEL・FAX：024-548-8226（直通）
E-mail：fuku2014bien@gmail.com

FUKUSHIMA BIENNALE 2014

10/11 SAT

26 SUN

10:00~18:00

休館日/水曜日

入場無料

(喜多方市美術館のみ有料)

福島 現代美術 ART ビエンナーレ

J A会津いいで駅前石蔵倉庫(10月1日)
ガーデンホテル喜多方
三十八間蔵
大和川酒造
小原酒造
金忠

喜多方市
湯川村
道の駅あいづ湯川・会津坂下
喜多方市美術館

circulate

企画・主催 / 福島現代美術ビエンナーレ実行委員会、国立大学法人福島大学 芸術による地域創造研究所

共 催 / 湯川村「豊穡の芸術祭」実行委員会、喜多方市美術館

助 成 / 福島大学学術振興基金、福島大学マトリクス型・分野横断的研究推進経費、 芸術文化振興基金、公益財団法人 花王 芸術・科学財団
平成26年度福島県地域づくり総合支援事業

特別協賛 / 会津いいで農業協働組合、一般財団法人ふくしま未来研究会、株式会社SKコーポレーション、株式会社ワールドサマール、カラー・キネティクス  COLOR KINETICS
KENJI YANOBE Archive Project、美術研究所 Δデルタ

後 援 / 福島県、福島県教育委員会、福島県農林水産部環境保全農業課、湯川村、湯川村教育委員会、喜多方市、喜多方市教育委員会、福島民報社、 The Acorn Foundation、 vevey city、 オランダ王国大使館、
福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMボコ、
株式会社ぶらっとWeb放送、喜多方シティエフエム、会津電力株式会社、特定非営利活動法人まちづくり喜多方、Acorn fundation and Vevey city、オランダ王国大使館

協 力 / 福島大学 地域創造支援センター、湯川村ゆがわ幼稚園、勝常小学校、箕川小学校、湯川中学校、福島県立博物館、福島県立美術館、諸橋近代美術館、郡山市美術館、いわき市立美術館、
CCGA (現代グラフィックアートセンター)、会津美里町商工会、さくらんぼ保育園、虹色詩人会、水彩画クラブ朋友会、アソリの会、ASSOCIATION GANBALO、国際水中映像フェ
スティバル実行委員会、福島こどものみらい映画祭実行委員会、Project FUKUSHIMA! 実行委員会、株式会社 Doorside、有限会社NALコーポレーション、笠原工業株式会社、株式
会社あおい、株式会社ホンシュウ、宗像薫、NECエンジニアリング、下村石書株式会社、紀文、坂野井木工所、ミチ工芸、ヒクテ運輸、カトーレック株式会社、ギャラリー東京ユマニテ、
ギャラリーQ、コバヤシ画廊、成山画廊、山本現代、養清堂画廊、Zen Foto Gallery、P3 art and environment、ARTCOURT Gallery、ギャラリーマサガ、日本画材工業株式会社、絵
工堂、昭文堂、風土舎、佐藤卓デザイン事務所、有限会社トキヲ、道の駅あいづ湯川・会津坂下、勝常寺念仏踊り保存会、会津湯川の里、JA会津いいでファーマーズマーケットいいで
の四季駅前店、大和川酒造、小原酒造、金忠、長島会計事務所、有限会社すとう農産、有限会社やまだス、ガーデンホテル喜多方、いいの民話の会、NPO 語りと方言の会、大野一雄舞踏
研究所、鋸形比呂一事務所、有限会社やまだマイク、町口由美、株式会社ミルインターナショナル

事務局 / 福島現代美術ビエンナーレ実行委員会

〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学 芸術による地域創造研究所 内
TEL・FAX: 024-548-8226 (直通) E-mail: fuku2014bien@gmail.com / koichiw09@hotmail.com

ホームページ: <http://wa-art.com/bien/>
Twitter アカウント: @fuku2014bien

題字:「氣」千葉清藍



「福島ビエンナーレ」は、福島大学 芸術による地域創造研究所が中心となって、ビエンナーレ(隔年)で開催されてきた芸術祭です。10年目のテーマは「氣 Circulate」をテーマに、会津地方の湯川村と喜多方市を拠点に開催します。

湯川村は「福島一小さな村」で、美味しいお米の生産地として知られ、福島で唯一の国宝の仏像(勝常寺)が安置されています。喜多方は、米の生産に加えて、酒や味噌、煎餅などを作り、西の倉敷に対する東の蔵の代表的な町として知られています。今年、自然エネルギーによる会津電気が、喜多方の造り酒屋から立ち上がりました。会津は、漆器と一緒に漆の実から蠟燭を作り、江戸の光を灯してきた歴史もあります。

東日本大震災後、福島は「見えないもの」の風評被害で負った最も大きな痛手は「食の文化」でしょう。会津にとって稲作文化は、地域の風景を形作り、豊穡の祈りを捧げる伝統芸能や神社仏閣の文化を育んだ精神的な基盤でした。飯豊山と磐梯山から流れる川の流れる田を潤し、地域の文化を形づくり、地域に住む人々の体内を「循環」してきました。

会津は日本でも最も放射線量の低い地域といえます。福島ビエンナーレは今年、「氣 循環」をテーマに、「見えるアートの力」を通して、あらためて私たちの自然と精神文化の継承と地域文化の活性化に寄与していきます。

■主な出展作家・Artists (順不同・敬称略) 8展示会場で、88名の共演

荒井経 飯野和好 石田菜月 伊藤将和 伊藤有幸 大石文 岡村桂三郎 小野耕石 小野良昌 片桐功敦 加藤清美
加藤貴義 川村克彦 北川健次 國府理 サガキケイタ 柵瀬茉莉子 佐竹真紀子 佐藤香 佐藤卓 三瓶光夫 柴崎恭秀
鈴木美樹 須藤亜貴 瀬戸正人 館形比呂一 田中圭介 千葉清藍 ときたま 戸谷成雄 西成田育男 野沢二郎 萩原朔美
林海象 平山素子 藤原真奈美 松井冬子 港千尋 宗像利浩 空谷圭章 母袋俊也 ヤノベケンジ 山中現 吉田重信
和合亮一 渡邊晃一 Zero Reiko+宮崎直輝

U.S.A / 長澤伸穂、オノ・ヨーコ《福島のための空の曲 SKY PIECE for Fukushima》 Canada / 武谷大介
England / Richard Bond The Netherlands / Tineke van Veen Germany / Gunter Deller, Michel Klöfkorn, Maria Mohr
Switzerland / Nicolas Christol, Anna Schlaeppli, Mélane Baumgartner, Nicholas Marolf
Mexico / Adalberto Bonilla, Susana Castellanos, Carmen Flores, Masafumi Hosumi, Adrin Mendieta
Bangladesh / Md, Tarikat

福島大学
小暮美帆、高橋悠、中村衣里、阿部友里子、大阪佳未、菅野真理子、
穴戸美文、瀬川晶、中畑和佳奈、本間今日子
A& (井本菜、坂本絵美、佐藤那恵、原田莉帆)
YONESUKE (井戸川文美、熊田あかり、齋藤友希、白岩勇磨、高橋花帆、武井麻美、渡邊賀菜子)
喜多方・石蔵の照明デザイン:木下史青

■展示、上映

10/1 WED	10/26 SUN	ビエンナーレ展	喜多方 石蔵
10/11 SAT	10/26 SUN	ビエンナーレ展	喜多方市美術館、金忠、三十八間蔵
10/14 TUE	10/26 SUN	ビエンナーレ展	道の駅あいつ湯川・会津坂下、大和川酒造
10/9 THU		豊穡の芸術 稲刈り祭	道の駅あいつ湯川・会津坂下 田んぼアート周辺
10/11 SAT		アーティストトーク	喜多方市美術館、金忠、三十八軒蔵、大和川酒造
		紙芝居「コメ」上演会 飯野和好、YONESUKE(福島大学)	金忠
		館形比呂一 ダンスパフォーマンス	JA会津いいで駅前石蔵倉庫
10/12 SUN		豊穡の芸術 新米祭	道の駅あいつ湯川・会津坂下
10/18 SAT		一日湯川村 DAY / ときたま映像上映	めくたま(東京都渋谷区東3-2-7)
10/19 SUN		映画祭「生きてこそ」 監督:安孫子亘 出演:山田登志美(会津の語り伝承者)、山田登志美(語り)の会	大和川酒造 昭和蔵(有料)
10/25 SAT		おにぎりシンポジウム 湯川・マイ・ゼミナール/米と食とメディアの研究会	道の駅あいつ湯川・会津坂下
10/26 SUN		グランドフィナーレ	道の駅あいつ湯川・会津坂下



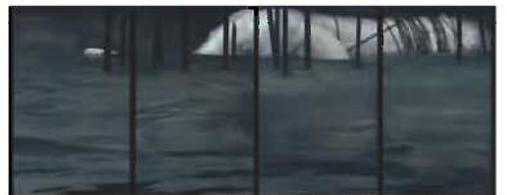
ヤノベケンジ《サン・シスター》
撮影:表相正



戸谷成雄《水根日・スワ》



岡村桂三郎《白象図 10-1》
撮影:末正直生 撮影:コバヤシ剛



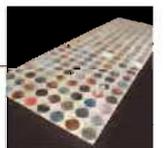
松井冬子《ただちに穏やかになって振りにおち》



吉田重信《光る豊穡の島》湯川村



映画「生きてこそ」監督:安孫子亘



■関連企画

現代「漆・歴史」考2014
渡邊晃一 On An Earth "FUKUSHIMA" of JAPAN
企画・会場:福島県立博物館 常設展示部門展示室(歴史・美術) 会期:6月30日(土)~10月5日(日)
大人・大学生260円(20名以上団体210円) 高校生・小中学生無料
<http://www.general-museum.fks.ed.jp>

■ワークショップ・パフォーマンス

- 田んぼアート 吉田重信、猪俣淳行、唐沢優江、湯川村勝常寺念仏踊り保存会
- 案山子をつくる湯川村ゆがわ幼稚園
- 「マイ・ライフ・ゼミナール」 福島大学
荒井経、飯野和好、伊藤有幸、北川健次、瀬戸正人、長澤伸穂、
町口由美、港千尋、ヤノベケンジ
- 大学生が探検! 発見! アートの旅
9月3日/湯川中学校/湯川村地区・喜多方地区を巡回
- 会津地方の稲作文化の絵本の制作
8月25・26日/飯野和好、福島大学学生/喜多方 金忠
- お米のサンドアートでCMをつくらう! Welcome to 湯川村
9月3日/小暮美帆/湯川中学校
- 《氣》を豊穡の大地へ(書による葛飾の小学校との交流事業)
9月29日/千葉清藍/茨川小学校、勝常小学校
- 獅子舞 パフォーマンス/各展示会場

※企画内容は都合により変更になる場合があります。詳細はホームページ <http://wa-art.com/bien/> をご覧下さい。



ACCESS

福島ビエンナーレ
FUKUSHIMA BIENNALE 2014
メイン会場

交通のご案内

- 自動車
東京方面→東北自動車道→(郡山)JCT→磐越自動車道
→会津若松IC→国道121号線→喜多方
→会津若松IC→国道49号線→湯川村
- 鉄道・バス
東京・仙台方面→(東北新幹線)→郡山→(磐越西線)
→会津若松→(磐越西線)→喜多方
→会津若松→(会津バス・柳津行き)→佐野下車→湯川村

FUKUSHIMA BIENNALE2014 福島ビエンナーレ

氣 ~ circulate ~

10/11sat /26sun
10:00 18:00(水曜休館)
入場無料



Q 福島ビエンナーレってなに？



「福島現代美術ビエンナーレ」は、福島大学の「芸術による地域創造研究所」・学生有志による「福島ビエンナーレ実行委員会」が運営する、隔年ごとに開催されるアートフェスティバルのことです。

2004年から始まったこの活動は、毎回テーマを変えて福島県各地で地域と協力しながら現代アートの展示を行っています。

...前回の2012年は、震災から一年半後に福島で初めて行われた芸術祭であり、国内外から多くのアーティストが参加し作品が展示され、メッセージを込めたアート作品は県民に多くの力を与えました。



「福島ビエンナーレ2014」 開幕！！

記念すべき10年目を迎えるビエンナーレ！
福島現代美術ビエンナーレが「氣」「循環」
をテーマに

2014年10月11日～26日の期間福島
県会津地方（喜多方市、湯川村）を中心とし
た8会場で国内外の88人のアーティストを
招いて開催されます！！



会場 勝常寺と念仏踊りが有名！ 『会津湯川村』



会場 蔵の街・らーめんの街といえば！ 『喜多方市』



～ 作品紹介 ～

《サン・シスター》 ヤノベケンジ

前回のピエンナーレで《サン・チャイルド》を展示して話題となったヤノベケンジ氏の新たな作品。

太陽とともに目覚め立ち上がる純白のワンピースを着た巨大少女像。福島県民や世界中の人々への深い祈りと新たな希望のメッセージを発信した作品。立ち上がると全長6mにもなります！

(展示場所：J A 会津いいで駅前石蔵倉庫)

照明：木下史青

日本で初の博物館専属の展示デザイナー。
東京国立博物館における照明のエキスパートが
サン・シスターの照明を担当しています。



【出展作家一覧】(8箇所の展示会場で、88名の共演)(順不同・敬称略)

荒井経、飯野和好、石田菜月、伊藤将和、伊藤有彦、大石文、岡村桂三郎、小野耕石、小野良昌、片桐功敦、加藤清美、加藤貴義、川村克彦、北川健次、國府理、サガキケイタ、柵瀬茉莉子、佐竹真紀子、佐藤香、佐藤卓、三瓶光夫、柴崎恭秀、鈴木美樹、須藤亜貴、瀬戸正人《Cesium》、館形比呂一、田中圭介、千葉清藍、ときたま、戸谷成雄、西成田育男、野沢二郎、萩原朔美、林海象、平山素子、藤原真奈美、松井冬子、港千尋、宗像利浩、母袋俊也、ヤノベケンジ、山中現、吉田重信、渡邊晃一、金澤文利、唐沢優江、島剛、橋本徳彦、空谷圭章Zero Reiko + 宮崎直輝

海外から

England / Richard Bond
U.S.A / 長澤伸穂、オノ・ヨーコ『福島のための空の曲』
The Netherlands / Tineke van Veen
Germany / Gunter Deller, Michel Klo(“)fkorn, Maria Mohr
Canada / 武谷大介
Switzerland / Nicolas Christol, Anna Schlaeppli, Mélane Baumgartner, Nicholas Marolf
Mexico / Adalberto Bonilla, Susana Castellanos, Carmen Flores, Masafumi Hosumi, Adrian Mendieta
Bangladesh / Md, Tarikat

・福島大学 小暮美帆、高橋悠、中村衣里、大阪佳未、瀬川晶、中畑和香奈、阿部友里子、穴戸美文、菅野真理子、本間今日子、佐藤那恵、井本葵、坂本絵美、原田莉帆、YONESUKE (井戸川文美、熊田あかり、齋藤友希、白岩勇磨、高橋花帆、武井麻美、渡邊賀菜子)

・喜多方・石蔵の照明デザイン / 木下史青

福島現代美術ビエンナーレ2014 - 氣 circulate -

【会期】2014年10月11日(土)～10月26日(日)

【開催時間】10:00～18:00(水曜定休)

【会場】道の駅会津湯川・会津坂下(道の駅あいづ湯川・会津坂下、JA会津いいで喜多方駅前石蔵倉庫、ガーデンホテル喜多方、旧嶋新商店三十八間蔵、大和田酒蔵北方風土館、小原酒造、金忠絵本の蔵、喜多方市美術館)

【企画・主催】福島現代美術ビエンナーレ実行委員会
国立大学法人福島大学 芸術による地域創造研究所

【共催】湯川村「豊穰の芸術祭」実行委員会
喜多方市美術館

【助成】福島大学学術振興基金、福島大学マトリクス型・分野横断的研究推進経費
芸術文化振興基金、平成26年度福島県地域づくり総合支援事業
花王芸術・科学財団

【特別協賛】会津いいで農業協働組合、一般財団法人 ふくしま未来研究会、株式会社SKコーポレーション、美術研究所Δデルタ

芸術の秋は福島ビエンナーレで！！

ご清聴ありがとうございました！！